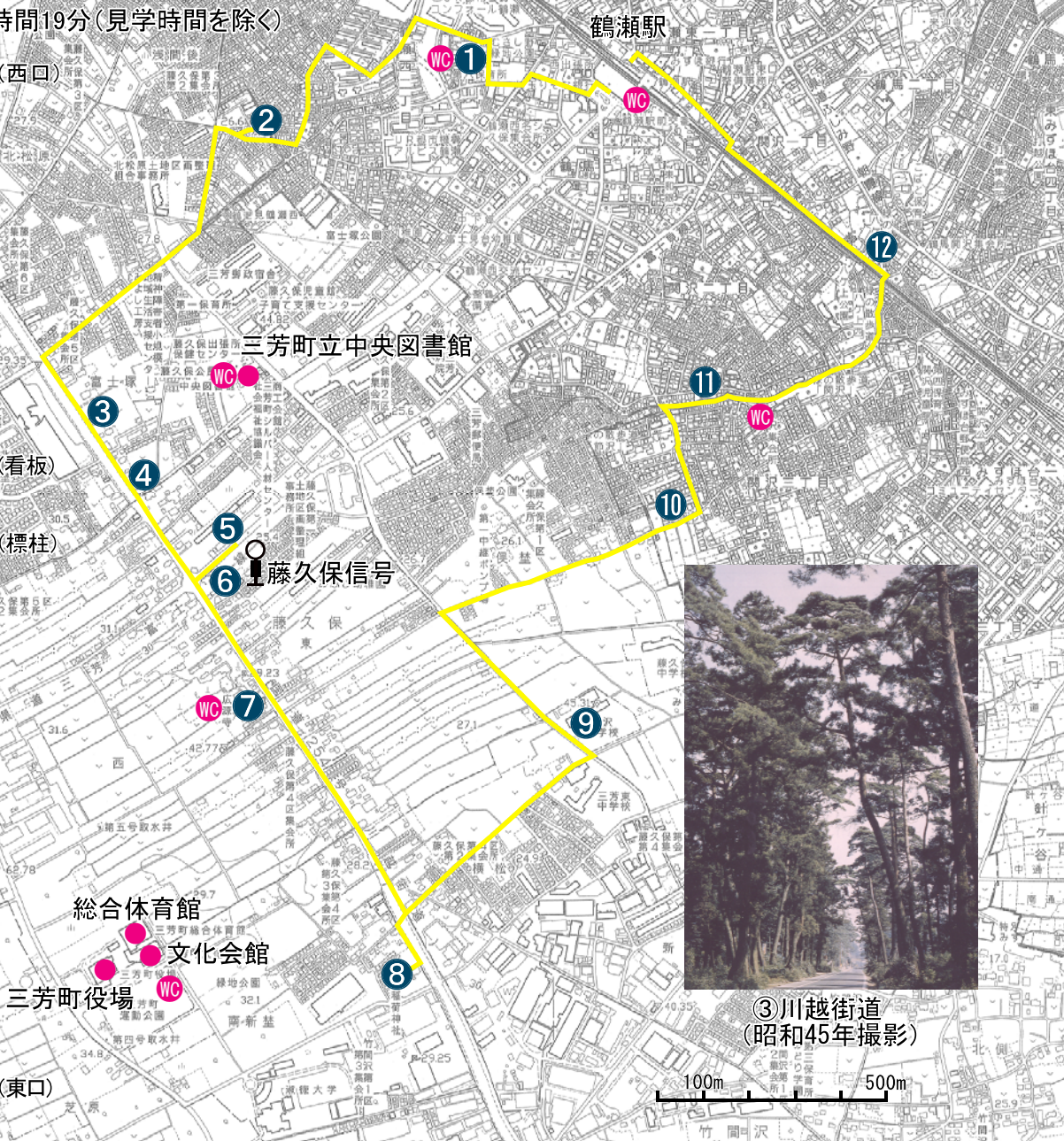


G. 川越街道の並木を歩む

■ 道程 / 6950m

■ 所要時間 / 約2時間19分 (見学時間を除く)

- 鶴瀬駅 (西口) 450m 9分
- ① むさしの緑地公園 700m 14分
- ② 浅間神社 800m 16分
- ③ 川越街道 200m 4分
- ④ 享和の庚申塔 300m 6分
- ⑤ 藤久保東遺跡 (看板) 50m 1分
- ⑥ 東乗院跡 (標柱) 200m 4分
- ⑦ 広源寺 750m 15分
- ⑧ 木宮稻荷神社 700m 14分
- ⑨ 鎌倉街道 1200m 24分
- ⑩ 市民の庭園 250m 5分
- ⑪ 江川プロムナード 700m 14分
- ⑫ 江川親水公園 650m 13分
- 鶴瀬駅 (東口)



③川越街道 (昭和45年撮影)

②浅間神社 東乗院の先達(修験者)が秩父から藤久保に移り住んだ際に勧請したと伝えられる。浅間信仰は富士山に対する信仰で、神社は富士山に見立てた高塚の頂に祀られることが多い。

⑦広源寺 大栄山広源寺と号する。曹洞宗に属し、渋井村(現川越市渋井)蓮光寺の末寺である。本尊は釈迦如来坐像。龍国呑海大和尚により寛永16年(1639)の開山とされる。明治7年(1874)には、近代学校教育制度のもと本堂に藤久保小学校が開校。明治22年(1889)の三芳村誕生時には仮役場として本堂が利用さ

れた。現在の本堂は、開山350年記念事業として平成2年に再建された。

③川越街道と並木 川越街道は江戸日本橋と川越を結ぶ約44kmの街道で、江戸時代の寛永年間(1624~43)に整備されたとされる。街道沿いの松や杉の起源はこの頃にさかのぼると思われる。昭和40年代頃までは樹齢百数十年といわれた松並木が藤久保交差点の南側に、北側には樹齢二百年といわれた杉並木が続いていた。現在では環境の変化などでほとんどが立ち枯れてしまったが、わずかに残る松の古木に往時の面影が偲ばれる。